株式会社奥村組

旧さざなみホールを活用化地域活性化拠点整備

【テ　ー　マ】 戦略的なインフラマネジメントを担う自治体の体制の確保 / スモールコンセッションの推進 / グリーン社会の実現 / その他（　　）

【対象施設】 道路 / 橋梁 / 公園 / 上下水道 / 河川 / 港湾 / 遊休施設 / その他（　　）

【事業方式】 コンセッション / その他のPFI / 包括的民間委託 / その他（　　）

旧さざなみホールは、若いアーティストの活動発信拠点として改修を行い、さらに市内の空き家をリノベーションし、アーティスト・イン・レジデンスとすることで、アーティストを招へいします。レジデンスに参加するアーティストには地域の高齢者が住む住居への訪問、見守りを義務付けし、地域コミュニティの活性化を担っていただきます。

①提案によって解決することができる課題のイメージ

【集客効果としての提案】

・若いアーティストたちは活動の場を欲しており、発表の場や拠点を安価に提供することで、アーティストインレジデンスの拠点「**アーティストの街、野洲**」というイメージを作り、人々が集まる地域とします。

【旧さざなみホール稼働率の向上に向けた提案】

・**旧さざなみホールは**、アーティストインレジデンスに参加するアーティストの発表の場として優先的に利用することで頻繁に発表会を行い、**稼働率を上げることで運営維持の安定化**を図ります。

【地域活性化の提案】

・アーティストインレジデンスに参加する**アーティストは**、市内の空き家をリノベーションして住居として提供し、家賃を安く提供する代わりに**地域の高齢者見守り制度への加入を義務付け**、地域の**高齢者が安心して暮らせるコミュニティの形成**を促します。

②提案内容

【各施設への改修内容及び導入システム】

・旧さざなみホールは、ホールの特性を生かし、ホールは、音楽及び演劇の発表の場に、ホワイエや回廊、各部屋をギャラリーとして絵画などの作品を発表できる場とします。また図書館として利用していた各部屋は、地域で活動している市民音楽団体の練習場所として利用できるようにします。

・アーティストが入居する住居（空き家）は防音対策を行い、周辺家屋への影響を抑えます。また、各家屋からWEB配信が行えるような通信環境も整備します。

・見守りは、訪問先の状況報告、訪問時間などを家族や野洲市の担当課に容易に連絡できる携帯アプリを用いて報告を行うこととします。

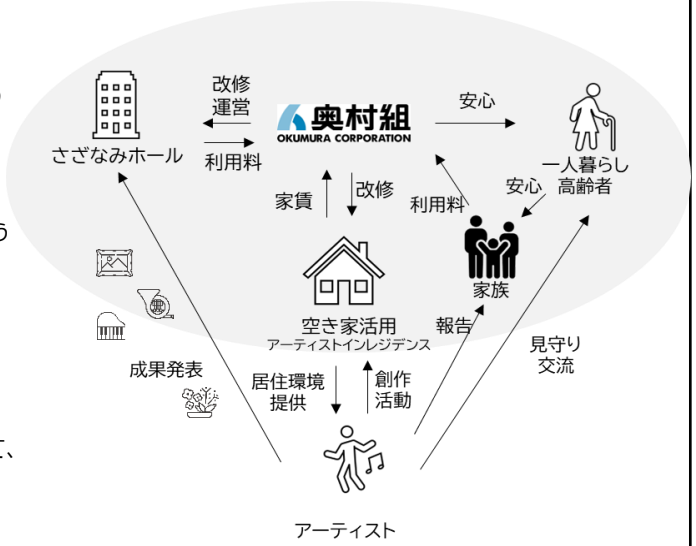
【活用方法】

・改修したホールは、WEB配信の場や撮影スタジオ、舞台での練習の場、映画鑑賞、ミニコンサート等を計画します。

・アーティストレジデンスへの参加者については、一人暮らしの高齢者の見守りを行うことが前提となるため、入居希望者については面接を行います。

・デジタルプラットフォームの活用として最新の技術を駆使した情報発信が可能となることで、SNSやオンラインギャラリーを通じて、アーティストの作品を広く紹介し、国内外のファンを獲得することができます。

・コンセッションの収入源は、ホール利用料、空き家の家賃と高齢者の見守りのシステム運用費を想定しています。



【先進性】

・若手アーティストの発掘と支援を通じて、その地域がアートの発信地として注目を集めることができ、これにより、観光客の誘致や地域経済の活性化にもつながる。

【有効性】

・高齢者との交流を組み合わせることで、地域のコミュニティが活性化し、住民間のつながりが強化される。これにより、地域全体の協力体制が整い、安心して暮らせる環境が創出される。また、市職員の負担を減らせる。

【汎用性】

・ホールや空き家を有効活用することで新規でコストをかけず、地域活性化にもつながり、同様な施設を保有する他の自治体への展開が可能。

団体名　：株式会社　奥村組　　担当者：亀谷　佳宏　　メールアドレス：yoshihiro.kametani@okumuragumi.jp
担当部署：投資開発事業本部　新事業開発部　　連絡先（電話番号）：070-7963-1228